【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公表番号】特表2005-532986(P2005-532986A)
【公表日】平成17年11月4日(2005.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2005-043
【出願番号】特願2003-539658(P2003-539658)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/404　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/08　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/20　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/26　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/32　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/36　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/38　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/40　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/42　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/404
Ａ６１Ｋ　 9/08
Ａ６１Ｋ　 9/20
Ａ６１Ｋ　47/10
Ａ６１Ｋ　47/26
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｋ　47/38
Ａ６１Ｋ　47/40
Ａ６１Ｋ　47/42
Ａ６１Ｐ　13/10
Ａ６１Ｐ　35/00

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月23日(2008.10.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
約９～約９．５のｐＨを有するtert－ブタノール／水中に溶解された３－ヒドロキシメチル－５－アジリジニル－１－メチル－２－［１Ｈ－インドール－４，７－ジオン］プロペノールおよび充填剤を含む、安定化抗癌製剤であって、凍結乾燥された安定化抗癌製剤。
【請求項２】
約９～約９．５のｐＨを有するtert－ブタノール／水中に溶解された３－ヒドロキシメ

チル－５－アジリジニル－１－メチル－２－［１Ｈ－インドール－４，７－ジオン］プロペノールからなる製剤の凍結乾燥物、および充填剤を含む、抗癌製剤。
【請求項３】
膀胱癌を処置するための製剤であり、前記充填剤がラクトースである、請求項１又は２に記載の抗癌製剤。
【請求項４】
さらに再構成用ビヒクルを含み、膀胱癌を処置するための製剤である、請求項１又は２に記載の抗癌製剤。
【請求項５】
膀胱癌を処置するための請求項４に記載の抗癌製剤であって、前記再構成用ビヒクルが、２％重炭酸ナトリウム、０．０２％エデト酸二ナトリウム、およびプロピレングリコール：水（６０：４０Ｖ／Ｖ）を含む溶液である製剤。
【請求項６】
約９～約９．５のｐＨを有する製剤ビヒクル中に溶解された３－ヒドロキシメチル－５－アジリジニル－１－メチル－２－［１Ｈ－インドール－４，７－ジオン］プロペノールと充填剤とを混合し、ここで、当該製剤ビヒクルが、tert－ブタノール／水又は２－ヒドロキシプロピル－β－シクロデキストリンの溶液であり、そして
凍結乾燥する
ことによって製造される安定化抗癌製剤。
【請求項７】
請求項６に記載の方法によって製造される安定化抗癌製剤であって、前記製剤ビヒクルがtert－ブタノール／水である製剤。
【請求項８】
請求項６に記載の方法によって製造される安定化抗癌製剤であって、前記充填剤がラクトースである製剤。
【請求項９】
約９～約９．５のｐＨを有するtert－ブタノール／水中に溶解された３－ヒドロキシメチル－５－アジリジニル－１－メチル－２－［１Ｈ－インドール－４，７－ジオン］プロペノールと、充填剤とから本質的になる安定化抗癌製剤であって、凍結乾燥された製剤；及び再構成用ビヒクル。
【請求項１０】
請求項９に記載の安定化抗癌製剤であって、当該再構成用ビヒクルが、２％重炭酸ナトリウム、０．０２％エデト酸二ナトリウム、およびプロピレングリコール：水（６０：４０Ｖ／Ｖ）から本質的になる溶液である、製剤。
【請求項１１】
２％重炭酸ナトリウム、０．０２％エデト酸二ナトリウム、およびプロピレングリコール：水（６０：４０Ｖ／Ｖ）からなる再構成用ビヒクル中に再構成された、約９～約９．５のｐＨを有するtert－ブタノール／水中に溶解された３－ヒドロキシメチル－５－アジリジニル－１－メチル－２－［１Ｈ－インドール－４，７－ジオン］プロペノールからなる製剤の凍結乾燥物およびラクトースを含む、抗癌組成物。